

福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和元年10月18日（金）
- 2 確認箇所
5・6号機サプレッションプール水サージタンク
- 3 確認項目
5・6号機サプレッションプール水サージタンク水移送の現場確認

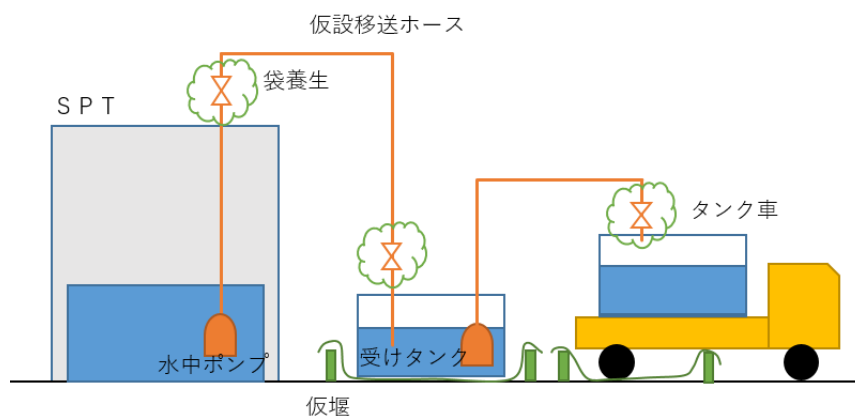
4 確認結果の概要

5・6号機サプレッションプール水サージタンク（以下、「SPT」という。）内部には、震災前のプラント保有水*に海水が混入した水約500m³が貯留されており、これらのプラント保有水はSPT天板からSPT内に水中ポンプを投入して、受けタンクに汲み上げ、その水をタンク車（タンクを積載した車両）で1～4号プロセス主建屋へ移送し1～4号機滞留水と合わせて処理を行っている。（図1）

平成31年3月6日に、SPTの現況を確認していたが、本日はプラント保有水の移送作業が行われる予定であったため、その現場確認を行った。

※ プラントで使用した水を一度浄化し、再利用するための水や廃棄物処理系で保管しているドレン水等であり、震災以降炉注水等で発生する高濃度の建屋滞留水等とは異なる。

- ・現場確認時には作業は行われていなかったが、移送ホースがSPTの天板に接続されていた。また、ホースの継ぎ目部分に受けパンが設置されており、受けパンがシートで養生されていた。（写真1）
- ・受けタンクには受けパンが設置され、フランジ部分及びホースとの接続部分はビニールで養生されており、漏えい防止対策が取られていた。（写真2）



(図1) SPT水移送の概念図（SPT側）



(写真1-1)
移送ホースの接続状況



(写真1-2)
移送ホース継ぎ目部分の状況
受けパンが設置され、さらにシート
で養生されている



(写真2-1)
受けタンクの状況
フランジ部分が袋養生されている
(赤丸部分が移送ホース接続部分)



(写真2-2)
移送ホース接続部分拡大
袋養生されている

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。